

Title	奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1966
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.59, No.2 (1966. 2)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19660201-0115

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

多大のご助力を得て、豊富に盛込むことができた。編集子としてこれ以上の喜びはない。何とか形はつくだろうと信じていたが、実のところ心配であった。広く執筆をお願いしてあったものの、果して大丈夫だろうか。締切り間近かに辞退でもされ、執筆者が偏することになっては大変だ。気になったのは、実にこの点である。しかし集まって来たのを見て、それは杞夢に終わった。限られた場を、最高に多彩に埋めることができた。ご覧いただきたい。ご助力を深謝する次第である。

かくいう時、もはや編集子が学会誌に寄せる期待の何たるかは明白であった。そして同時にまたこれは、学問なるものについて編集子が考えているところの一端を披瀝することにも通じた。個の躍動できる場が学問であった。ここで個という時、何の拘束も受けないことが立前である。奔放がいい。従って学問に、雑多な関心が同居するのは当然であった。相違が目立つが、しかし無理なく共存している時、学問として理想の状態であった。編集子の身辺はこれに近い。それを、編集子は学会誌に反映できればと願った。希望はかなえられた。異質のものが混在し、決して反発しないのである。今後もしこれは守立てたい。それには相互理解の努力が肝要であった。差当り学会誌はこのため必要な場とでもいえるか。ばらばらで、一見まとまりがない。従って不統一ということでもあろうが、実はこれが大切なのだ。

(渡辺國廣)

昭和四十一年二月一日発行

© 三田学会雑誌 第五十九巻 第二十九号

定価 一〇〇円(送料別)

東京都港区芝三田二丁目二番地

慶應義塾経済学会

編集兼
発行人

代表者 遊 部 久 蔵

電話三田(493)二二二一
振替口座番号 東京四四〇五六

印刷者

東京都港区芝三田豊岡町八番地
図書印刷株式会社
木 山 康 夫

半カ年予約購読料(送料共)

一カ年

七二〇円
一四四〇円

御希望の方は左記へ購読料を添え御申込み下さい。

発売所

東京都高輪局区内三田綱町一番地

慶 應 通 信

振替口座番号 東京一五五四九七